

特定非営利活動法人

明るいシステム倶楽部 会報8月号

令和3年8月1日

(2021年)

今年の梅雨は、線状降水帯の頻発等により、全国各地に多大なる被害をもたらしました。また、世界はコロナ禍という状況にありますが、7月23日には東京五輪の開会式が催され、8月に入っても、各種競技においてアスリート達が熱い戦いを繰り広げています。

確かに、五輪開催の是非の議論はありましたが、復興五輪やコロナ禍からの克服等の意味を含む歴史的行事であり、世界の人々の心に明るい希望を灯せればと期待しています。

一方で、アスリートの多くは、スポーツの力を信じて自分達に何ができるかを考え、応援する観客に希望と勇気を少しでも与えたいと、全世界に向けて思いを馳せてくれています。

五輪では、結果的に大多数の競技が無観客で行われています。今度は、私達自身が多くの苦難を乗り越えてきたアスリート達を心の底から応援する番なのではないでしょうか。

苦しい時こそ、自分だけでなく相手を思う気持ちが大切だと申します。五輪のモットーには、「Together (共に)」という言葉が今回新たに追加されたとのこと。

バッハ IOC 会長の強調する「連帯」を待つまでもなく、五輪は各国対抗の形こそとっていますが、元来は多様な人々が世界中から集まり、一つの大きなゲームに参加しているとも言え、この意義を改めて再認識する時期が来たのかもしれない。

今後も続く試練をどう受け止め、乗り切るか。各人の姿勢にかかっているととも言えます。

< 8月の送付物 >

- ① 日本一明るい経済新聞 8月号
- ② 年会費納入のお願い (該当者のみ)
- ③ 領収証の交付 (該当者のみ)

< お知らせ > 当倶楽部事務所の夏季休暇など

- ・夏季休暇は、8月12日(木)～16日(月)の5日間としますので、お間違いのなきように宜しくお願いいたします。
- ・なお、通常の勤務体制は、原則的に毎週火曜日及び金曜日を出勤日としています。こちらも宜しくお願いいたします。



< 8月の活動予定 >

- | | |
|--|-------------|
| 8/07(土)「気楽な ZOOM サロン」⑨ | 20:00～21:30 |
| 8/11(水) AKS 市民大学 (ZOOM) 菊池教室⑦ 「感性を育む和学講座」 | 20:00～21:30 |
| 8/18(水) 臨時役員会議⑭ 「次回 AKS 認証候補企業の検討ほか」 | 13:30～15:30 |
| 8/20(金) 仏教雑学講座 河本雪夫会員 | 夏休み |
| 8/24(火) 明るいシステム勉強会 (ZOOM 形式を含む) | 14:00～16:00 |
| 8/28(土) AKS 市民大学 (ZOOM) 宮崎教室「あっ! と驚くトラブル解決法」 | 20:00～21:30 |

— チームとしての力 —

高村 和義

世の中には、多くの個人が生活していると同時に、多数の組織やチームが存在します。

歴史的にみれば、太古の昔も人類が生き延びていく中で、体力的に劣るホモサピエンスが何故最終的に残り、現人類の直接の祖先となったのか。一説には、集団としてのまとまりが、厳しい生存競争の中で他の人類の祖先に比べて有利に働いたとも言われます。

話は飛びますが、近代以降における資本主義社会においても、「株式会社」という組織が資本の自由化による発達の側面がある一方、産業社会全体を飛躍的に発展させる上で大いに役立ったことは今日の隆盛をみても明らかでしょう。

さて、個人ではなく、このチーム、集団、組織としての力とは何なのか、私達は企業内に営業チームやプロジェクトチーム等を作りますが、その効果は如何に？

ここで、個人の集合体と活きたチームとの比較を、オリンピックを例にご紹介します。約5年前のリオ五輪で、陸上男子400Mリレーの日本チームが銀メダルを獲得するという大活躍を見せました。日本チームには9秒台の選手は一人もおらず、並み居る外国チームは9秒台の俊足を擁し、4人の持ちタイム合計ではとても日本チームは及ばない状況でした。

外国チームは、強い「個」の集団である一方、日本チームは独特のバトンパスの習熟度を極限近くまで高めた結果、四人の強力な「連携関係」が力を発揮したとも言えます。

それでは、事業運営等においては、どうすればチームの力を最大限に発揮できるか。

「ザ・チーム」を著した麻野耕司氏によると、世間はチームに対して大いなる誤解があり、「目標を確実に達成するチーム」や「チームはコミュニケーションが多いほど良い。」等、私達からすれば必要なことかと思いますが、時にはチームが十分にパフォーマンスを発揮できない原因にもなるとのことには驚きました。以下に、著者推奨の「5つの法則」の一端をご紹介します。紙面の関係で、目標設定を中心に補足説明いたします。

- A. 目標設定の法則（旗を立てろ！）
- B. 人員選定の法則（戦える仲間を選べ）
- C. 意思疎通の法則（最高の空間を作れ）
- D. 意思決定の法則（進むべき道を示せ）
- E. 共感創造の法則（力を出し切れ）

ところで、「チーム」に似た「グループ」という言い方がありますが、違いは明確な目標があるかないか。更に、右肩上がりの高度経済成長時代と違い、将来が見通しにくい現代では目標の立て方に大きな変化があるそうです。昔は行動レベルの目標でも良かったものが、成果レベルの目標に替わり、今後は意義レベルの目標を必要とする時代になったとのこと。

チームの一人一人が、チームの意義目標を見つめ直し、各個人の自主性や創造性が自然と発揮される職場環境が、愈々大切な時代になってきたとも言えます。

当倶楽部に置き換えますと、「明るいシステム」を社外に発信し啓蒙する行動目標から、毎年会員〇名、AKS 認証企業〇社増やす成果目標へ、更には日本の中小企業全体を明るく発展させる意義目標へ向けて、この機会に改めて考えてみる事が大切かと思いました。

